

Informatica Test Data Management

アジャイルなテストデータ管理で開発／運用の品質向上を実現

利点

Informatica Test Data Management ソリューションは、テストの生産性を高める以下の機能を提供します。

- テストのシフトレフト（前倒し）
- 質の高いテストデータによるソフトウェア全体の品質向上
- テストデータのライフサイクル管理を自動化し、開発／運用をサポート
- 匿名の機密データによってテスト／開発をアウトソーシングやオフショアリングすることでコストを削減
- セルフサービスのテストデータを提供
- 同じテスト環境で作業する複数のテスター間のコラボレーションをサポート

企業がソフトウェアの開発にアジャイル開発手法を採用した場合、テストに対するアプローチも変えなければなりません。従来のウォーターフォール式の開発手法では、品質保証は他との関係がない独立したステップになっています。しかし、アジャイル開発では、スプリントの一部に組み込まれ、テストが毎週（または毎日）実行されます。テスターは、厳しい納期に間に合わせるためにオンデマンドのセルフサービス テストデータを必要とします。

このため、テストデータ管理を通して DevOps（開発／運用）プロセスにテストデータを組み込むことが、スケジュールどおりに高品質の成果を達成し、継続的にソフトウェアを提供するための鍵になります。最も重要なのは、可能な限り正確かつ迅速に、最適なチームに最適なテストデータを届けることです。

テストデータに品質に焦点を合わせる

テストエンジニアは、本来はテストデータセットの準備に大半の労力を費やすべきですが、実際は時間の半分をソフトウェアのテストと関係のない業務に費やしています。チームがアジャイル開発手法へ移行するのに伴い、こうした状況がテストの効率性と効果を損なうこととなります。アジャイル開発では早いタイミングで問題が発覚するため、より早い段階で効果のないプラクティスを把握できます。ただし、デメリットもあります。

テスターが新しいシナリオやテストの要件にすばやく対応していくためには、データディスカバリを行ったり、既存のテストデータベースのデータセットの再設定や非連結行の生成といった作業を自動化できる適切なツールが必要となります。Informatica Test Data Management（テストデータ管理）は、以下に対応したツールを提供します。

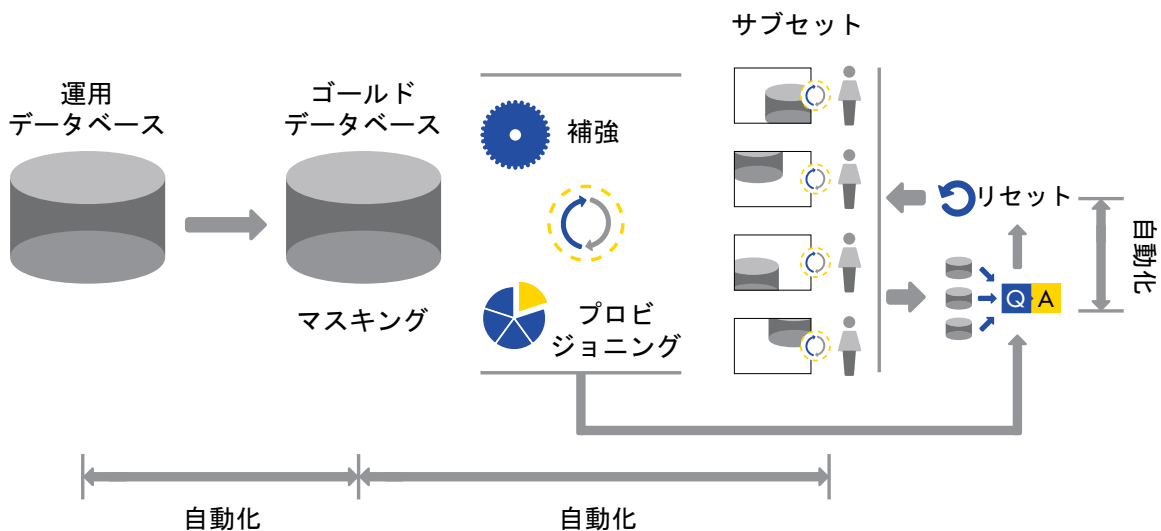
- テストデータのプロビジョニングを自動化
- データの関係性や機密データを自動的に探索し、完全な機能性を備えたテストデータセットを作成、管理
- 運用データを補完するテストデータの自動生成によってテストデータのカバレッジを強化
- テストデータ カバレッジを視覚化し、足りないデータを把握
- テストデータを発見するセルフサービスツール
- テストデータセットをメンテナンスして再利用することで、高品質なソフトウェアをスケジュールどおりに提供

テスターのためのセルフサービスのテストデータ

新規または既存の非運用環境で独自のデータセットをリクエスト、操作、プロビジョニングできるセルフサービス機能を提供する **Test Data Warehouse** によって、テストの生産性が高まります。これらのデータセットは、他のプロジェクトやチームと共有できるため、コラボレーションも促進されます。テストデータセットは、テストケースにタグ付けして、クイック検索やテストツールとの統合にも利用できます。

統合されたテストデータ自動化によって開発/運用をサポート

Informatica Test Data Management は、設定などの手間をかけることなく、すぐに開発/運用に活用できます。また、データのサブセット化やマスキング、合成データの生成を自動化するコマンドライン API を提供します。この API を使用することで、コンフィグレーション管理との統合、ワークフロー、テスト自動化、テストケース管理、ソースコード管理、サニティチェック、リグレーションテスト、**Jenkins**、**Selenium**、**Chef**、**Puppet**、**HP ALM** などとの統合テストを実行できます。

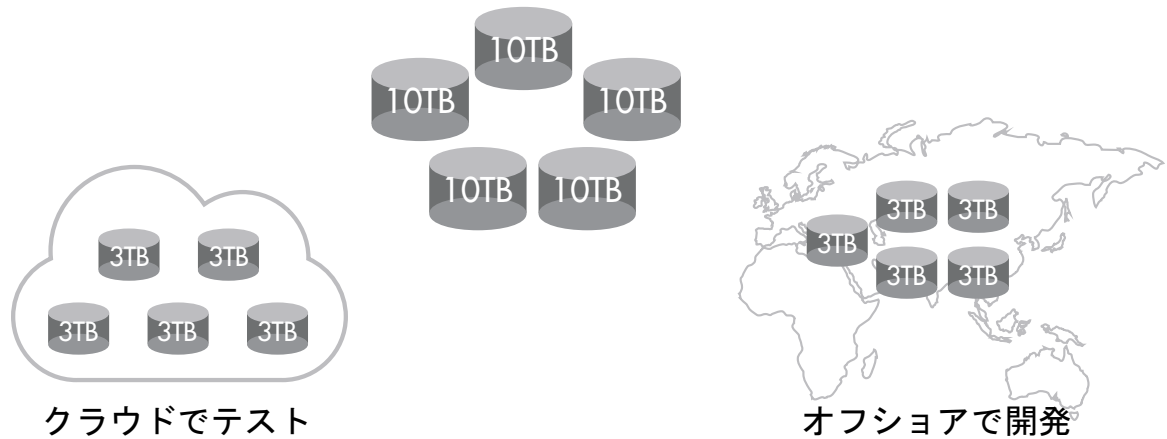


マスキングした運用データを使用してコスト削減とアウトソーシングを実現

テスターは、運用環境から複製した実際のデータを使用して、オンプレミスやクラウドのリポジトリにテストデータセットを作成することができます。開発チームやテストチームがエンドユーザー用に環境をリリースする前に、**Informatica Persistent Data Masking** を使用して顧客やサプライヤーの名前、住所、電子メールアドレス、識別情報をマスキングすることが可能です。このソリューションは、ガートナー社により市場をリードするデータマスキングソリューションであると評価されています¹。

¹ ガートナー社の 2015 年データマスキング テクノロジーのマジック・クアドラント

オンプレミスで QA



企業ごとに異なる要件に応える Informatica Test Data Management

ウォーターフォール式の手法で IT を運用している企業もあれば、アジャイル開発手法をすでに採用している企業や、開発／運用に自動化機能を全面的に導入している企業もあります。このような企業のさまざまな要件を満たすことができるように、Informatica Test Data Management には 2 つの異なるエディションが用意されています。

Informatica Test Data Management Standard エディション

Informatica Test Data Management Standard エディションは、拡張可能で、視覚的に分かりやすいテストデータ管理ソフトウェアです。IT 部門は、PCI、PHI、PII のデータをマスキングして、運用環境からテストデータのサブセットやコールドコピーを作成することができます。このエディションには、自動データディスカバリ機能が備わっているため、テストデータ設計者は、機密データ要素やテーブル間の関係を発見したり、運用システムに存在するデータを把握したりすることが可能です。また、データの妥当性チェックを利用して、機密データがマスキングされているかを確認し、期待される結果とテストスクリプトの実行結果を比較することもできます。

こうしたテストデータ管理業務は、コマンドライン API を使って対応することも可能で、Jenkins などの DevOps ツールとの統合も実現します。

Informatica Test Data Management Advanced エディション

Informatica Test Data Management Advanced エディションは、アジャイルテストの体制が整っている組織を念頭に設計されています。Standard エディションの全機能に加えて Test Data Warehouse も含まれており、テストデータセットのリセットやタギング、コラボレーションもサポートしています。こうしたデータセットを、HP Application Lifecycle Management (ALM) に代表されるテストツールに自動的にプッシュし、テストスクリプトをすぐに実行できる状態を作ります。

インフォマティカについて

データが世界のビジネスを動かす今日、インフォマティカはお客様がデータから最大限の価値を引き出すことができるよう全力で取り組んでいます。企業には、クラウド、ビッグデータ、リアルタイム、ストリーミングなど様々なデータに対応できるビジネスソリューションが求められています。インフォマティカは、世界 No.1 のデータ統合ソリューションプロバイダーとして、クラウド、オンプレミス、ハイブリッド環境に向けたソリューションを提供しており、世界 7,000 社以上の企業がインフォマティカのデータソリューションを活用してビジネスを革新しています。

また、テストエンジニアは、Test Data Generator を使用して、新規の使用事例や発生頻度が低い事例に合わせたデータを作成することもできます。Test Data Generator は、Test Data Management Advanced エディションの構成要素です。Test Data Generator はデータディスクカバリと連携して、運用環境での既存のデータ配信に基づいてデータを生成します。

これらの機能はすべてコマンドライン API もサポートしており、自動化することができます。

INFORMATICA TEST DATA MANAGEMENT の各エディションの比較		
	STANDARD	ADVANCED
高性能で拡張可能なサブセットとマスキング	✓	✓
システム管理の一元化	✓	✓
データディスカバリ	✓	✓
開発/運用の統合のための API	✓	✓
データの妥当性チェック	✓	✓
リレーショナル、非 SQL、メインフレームとの接続	✓	✓
リレーショナルとメインフレームのマスキング	✓	✓
リレーショナル、非 SQL、Hadoop のマスキング		✓
テストツール (HP ALM) との統合		✓
Test Data Warehouse		✓
Test Data Generation		✓



〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600(代表) FAX：03-3433-1021
www.informatica.com/jp [linkedin.com/company/informatica](https://www.linkedin.com/company/informatica) twitter.com/InformaticaCorp

© 2016 Informatica LLC. All rights reserved. Informatica® および Put potential to work™ は、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。